



新型コロナワクチン接種

Q&A

第4回

コラム版

知っておきたい新型コロナワクチン接種

厚生労働省ホームページから抜粋
(令和3年8月31日更新分より)

若年者のかたのワクチン接種、メリットとデメリットの考え方

令和3年8月時点で、10代が新型コロナウイルス感染症に感染した人数は、日本国内で5万人を超えてています。

大半の罹患者が軽症で済んでいるとはいえ、嗅覚や味覚に障害などの後遺症で苦しんでいる方がいます。

ワクチンの臨床試験の結果では、高い有効性が確認でき、感染や発症の確率を大きく減らすことが証明されています。仮に感染したとしても、症状のある期間が短くなったり、重症化を防いだりする効果も期待できます。

ワクチン接種によって守られる

のは、接種を受けた本人だけではありません。同居する家族や日常生活に接する友人などを守る効果もあります。

広報紙では引き続き、コロナワクチンについての最新情報を発信していきます。

町内の接種状況は町民約1万人のうち、約8千人が接種を終えました。

今回は、ワクチンの専門家のコラムを通して、接種率の低い若年者に向けたワクチン接種の考え方をお伝えします。

接種しないことは、本人だけでなく、周囲のかたを危険にさらしてしまうかもしれません。接種は周囲のかたを守ることにもつながります。

新型コロナウイルスは、今後も共存していく可能性が高く、感染するリスクと隣り合わせで生活していくことになります。

つまり、接種を受けるか、いずれ感染してしまうかの一択になります。ワクチンと新型コロナウイルス感染症、果たしてどちらが危険でしょうか。そう考えると、接種を受ける意義が見えてくるのではないかでしょうか。

今後の町内でのワクチン接種について

町の新型コロナワクチン集団接種が8月12日に終了しました。町内の12歳以上の対象者の8割以上のかたが接種を終えられました。

今後、ワクチン接種が済んでいないかたが、接種を希望される場合は、個別接種での対応となります。

最新のワクチン接種への関心や疑問は「新型コロナワクチンQ&A」サイトにアクセスするか、コールセンターまで問い合わせください。

←こちらのQRコードからもアクセスできます。



新型コロナワクチンコールセンター
受付時間 9時～21時(土日・祝日も実施)
☎ 0120-761-770[フリーダイヤル]



問い合わせ先
役場町民保健課保健予防係
☎ (86)1157

役場町民保健課に問い合わせのうえ、
接種日や接種場所を申し込みください。

参考文献：厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」マウンテンサイナイ 医科大学 老年医学科 コロワクンサポート代表 山田悠史